

令和5年度 地域創生学生交流事業

# ちくせい若者まちづくり会議

CHIKUSEI WAKAMONO MACHIZUKURI KAIGI

ハンドブック



## ワカモノの まちづくりラボ

学生 × 茨城県筑西市



## はじめに

筑西市、また、日本の明るい未来のために。

現在、私たちの周りには多くの社会問題（地域コミュニティ・地域経済・教育・文化・医療・福祉・環境問題等）が存在しています。問題解決のため、多くの行政・企業等は取組みを進めていますが、これからの時代、次世代を担うのは若者の皆さんです。だからこそ、若者が、政治・社会問題・自分たちが住む地域のことを他人事にならず考え、自分事として行動することが重要と考えています。

筑西市では、学生のたまり場・遊び場・学び場となる「ちくせい若者まちづくり会議」を立ち上げ、地域課題の解決や地域活性化など、若者による地域づくりを進めます。学生の自由なアイデアを地域と連携し実現することで、「若者が活躍でき、住みたいまち」を目指します。

まずは、若者に筑西市を知ってほしい、もっとPRしてほしい、そして、好きになってもらいたい。

「好き」という気持ちから生まれる探究心や好奇心が、新しい発想・新たな一歩を進ませてくれる。そんな活動がこの会議をとおして実施していけたらと考えています。踏み出すことで見える景色が変わり、多くの仲間・地域の人と関わることで、あなたの中の価値観や世界観が変わるかもしれません。

また、この会議が学生同士の出会いや交流の場となり、「筑西市」をキーワードに集まったメンバー同士で横のつながりもつくってほしいと思っています。

この場で生まれる化学反応に期待し、「初めてのこと」・「楽しいこと」、そして、「ワクワク」・「ドキドキ」を感じながら、一緒に活動してみませんか？

# あなたの思い、**筑西市**で 活かしてみませんか？

～学生のたまり場・遊び場・学び場～

「ちくせい若者まちづくり会議」では、  
学生の皆さんが見つけた筑西市の**魅力**を**SNS**で**発信**をしたり、  
筑西市の**まちづくり**について、皆さんの**自由**な**アイデア**  
を、**地域**と**連携**して**実行**していきます。

筑西市をもっと知りたい！

筑西市をPRしたい！

同世代で交流し、賑わいづくりに貢献したい！など

## 【実施概要】

主に本市から通学する大学生等をメンバーとし、**フィールドワーク**や**市民との交流会等**により地域の実情に触れ、**学生の目線で発見する筑西市の魅力等をSNSで発信するとともに、学生自ら企画する「プロジェクト（賑わいを作り出すための提案など）」**を考え、**提言・実行**をする。

令和2年度 参加メンバー**27名**（筑西市内在住19名、筑西市外在住8名）

令和3年度 参加メンバー**29名**（筑西市内在住18名、筑西市外在住11名）

令和4年度 参加メンバー**35名**（筑西市内在住22名、筑西市外在住13名）

※令和5年度の継続者は17名



## ちくせい若者まちづくり会議参加対象者・任期・報償

- 対象者：筑西市出身の学生(主に筑西市から通学している学生) や筑西市のまちづくりに興味のある学生  
※ 学生とは、大学・短期大学・大学院の学生及び専門学校生
- 任 期：令和6年3月31日まで ※更新可能
- 報 償：全体会議へ1回出席ごとに3,000円支給

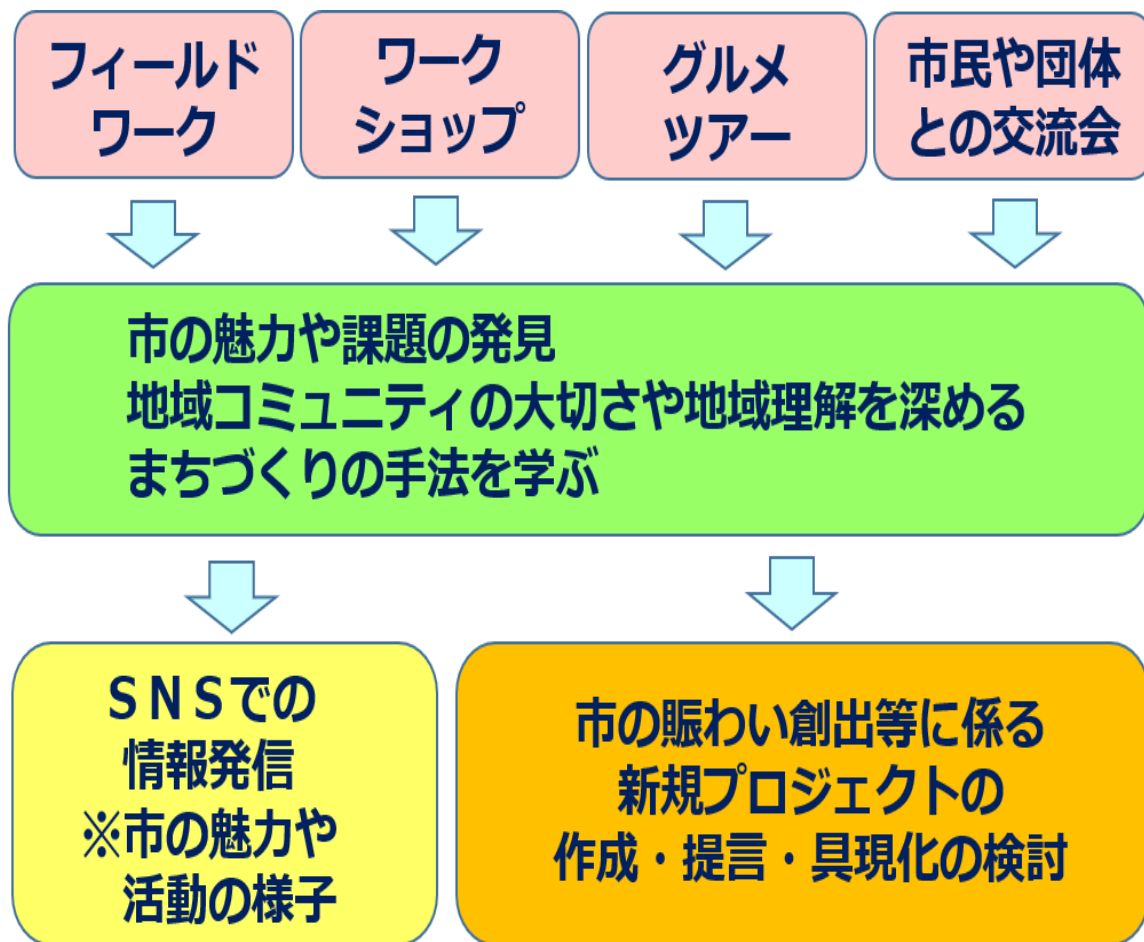
## 活動内容

- ① 筑西市でフィールドワークやワークショップ・グルメツアーを行うことで、市の魅力や課題を知る。
- ② 筑西市内で開催されるイベントへ参加し、地域理解に努める。
- ③ 筑西市の魅力をSNSで発信する。(ちくせい若者まちづくり会議公式インスタ・フェイスブック・ツイッター)
- ④ 筑西市をさらに「魅力あるまち」にするためのプロジェクトを考え、市や地域経済団体等へ提言する。  
※考えていただくテーマは時代の流れに合わせ、毎年度変わります。  
令和5年度のテーマは「地域(筑西市)社会のデジタル化」
- ⑤ ちくせい若者まちづくり会議で生まれた市民団体「ちくせい若者プロジェクト【ちくまる】」と連携し、若者目線で行う地域づくりに参画する。  
※令和5年度ちくせい若者まちづくり会議メンバーとなった方は、希望制で「ちくまる」のメンバーと一緒に活動をしていただきます。「ちくまる」の活動内容については別紙のとおり。
- ⑤ メンバー同士、また、筑西市内の市民や団体等との交流をとおして、自己成長につなげていただく。

## 活動のかたち

- ①全体会議：メンバー全員でフィールドワークやワークショップをメインに行う会議(年6回 ※報償支給対象)
- ②市民団体活動(希望制)：「ちくせい若者プロジェクト【ちくまる】」の活動(適宜開催)

## ちくせい若者まちづくり会議の活動

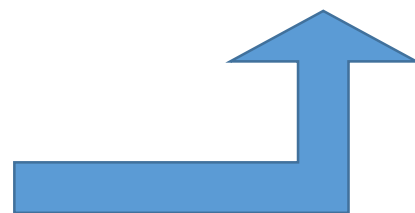


## ちくせい若者プロジェクト 【ちくまる】の活動

※活動参加は希望制

4つの部会に分かれ、活動を行う。

※収入は、会員費・イベントの収益・筑西市からの補助金等による。



※まちづくり会議で考えたプロジェクトの内、「ちくまる」で実行できるものは活動に取り入れる。

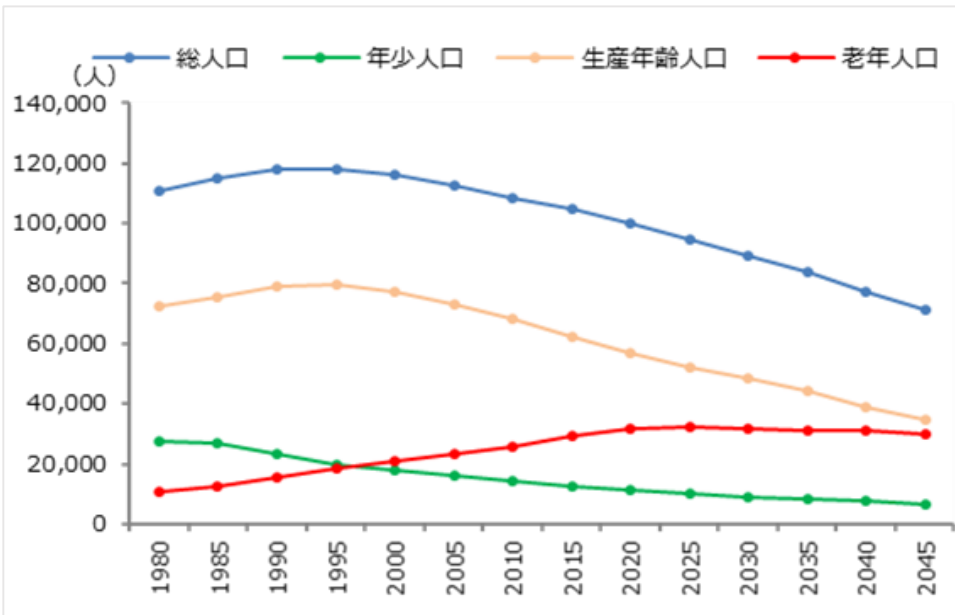
# 【全体会議実施スケジュール】（予定）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
メンバー	・筑西市の魅力SNSで情報発信 ・新規プロジェクトの考案 ・ワークショップ、フィールドワーク、企業家等との交流会											
事務局	新規メンバー募集（> 5月29日）											
	・会議運営 ・ちくせい若者プロジェクト「ちくまる」サポート											

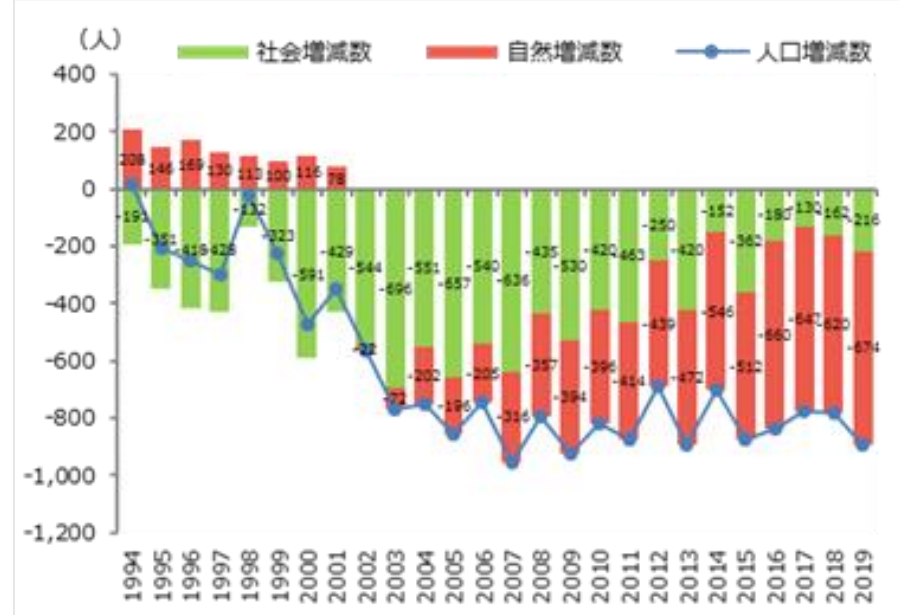
※フィールドワークの案内人及びワークショップのファシリテーターは、筑西市地域おこし協力隊 石井 智晃 氏

回	R5予定	時間（予定）	開催場所	主な内容
第1回	6月17日 （土）	10時～17時	グランテラス 筑西 多目的室	A M：新メンバー登録証交付式、 今年度活動内容説明、市民団体「ちくまる」の紹介 P M：筑西市グルメツアー フィールドワーク（市内散策）
第2回	7月15日 （土）	10時～17時 ※16時～17時は「 ちくまる」会議	スピカビルコ コミュニティ ラザ	A M：フィールドワーク（市内散策） P M：筑西市グルメツアー 住みたいまち、魅力的なまちについて考える（グループワーク） 市の統計情報等のインプット
第3回	9月2日 （土） ※ひまわり	10時～17時 ※16時～17時は「ち くまる」会議	宮山ふるさとふ れあい公園 （BBQ場）	A M：フィールドワーク（あけのひまわりフェスティバル） P M：筑西市グルメツアー（バーベキュー） 地域（筑西市）社会のデジタル化について企画立案演習（個人ワーク） ※OB・OGも参加可
第4回	11月18日 （土）	10時～17時 ※16時～17時は「 ちくまる」会議	スピカビルコ コミュニティ ラザ	A M：フィールドワーク（市内散策） P M：筑西市グルメツアー 個人が考えた企画案をグループで共有し、意見交換・類似案の統合 ・プレゼンデータ作成等（グループワーク）
第5回	1月13日 （土）	10時～17時 ※16時～17時は「 ちくまる」会議	アルテリオ 集会室	A M：企画案の最終調整 P M：筑西市グルメツアー 企画案のプレ発表会 市内企業家との交流会（学生提案事業へのアドバイス等）
第6回	3月9日 （土）	10時～17時	スピカビルコ コミュニティ ラザ	A M：企画プレゼン会のリハーサル P M：筑西市グルメツアー 企画プレゼン会 ※OB・OGも参加可

## 事業実施の背景①



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(REASASより引用)

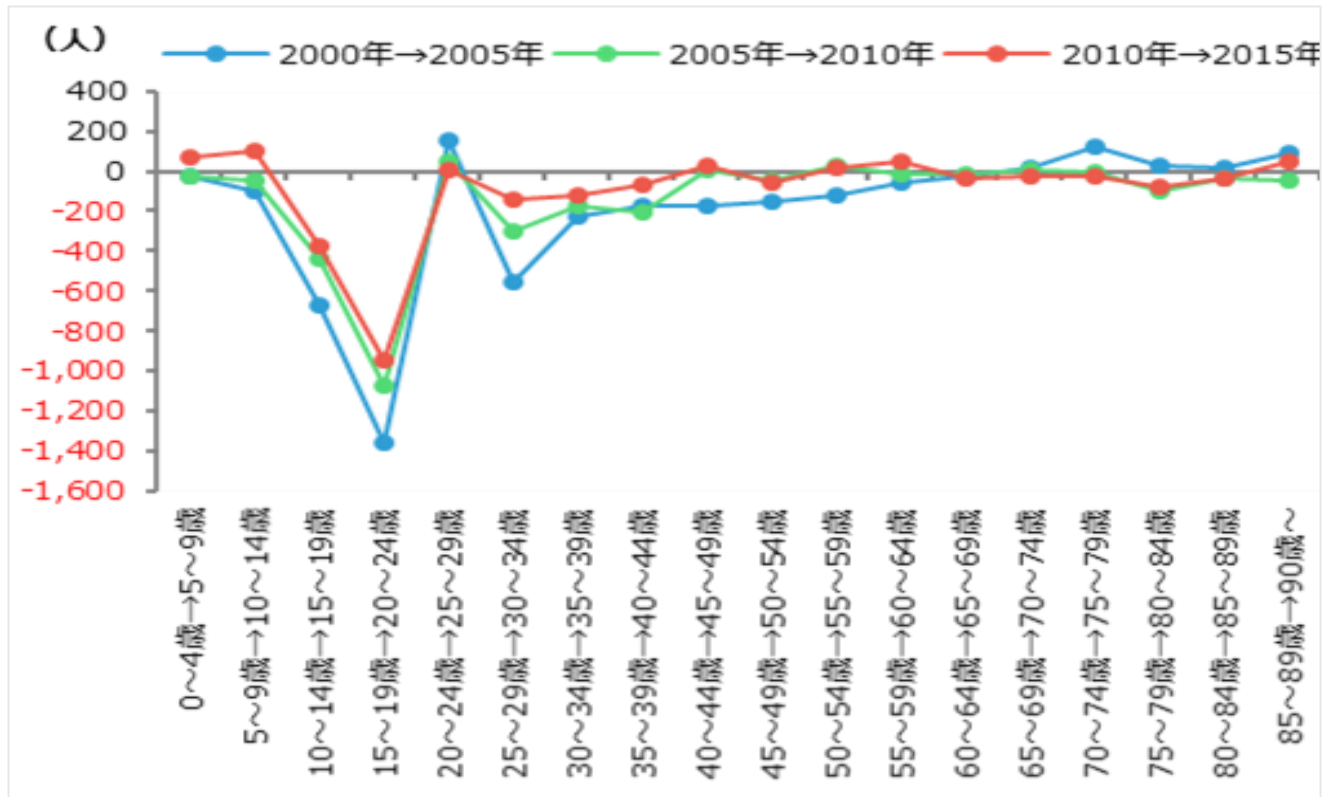


出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工(REASASより引用)

本市の総人口は、1995年に1市3町の人口の合計が118,078人をピークに、その後は減少傾向に転じ、2015年には104,573人となっている。年齢構成をみると、年少人口と生産年齢人口が減少傾向にある一方で、老年人口は増加を続けており、2015年の高齢化率は28.0%に達している。自然増減については、出生数の減少と死亡数の増加が進み、その傾向が拡大している。また、社会増減については、転出数が転入数を上回り、社会減で推移しているが、令和元年度より人口対策部・こども部を設置するなど、人口減に対する取組強化により、当市の社会減は減少傾向にある。特に、令和2年12月、令和3年1月、2月は社会増となった。



## 事業実施の背景②



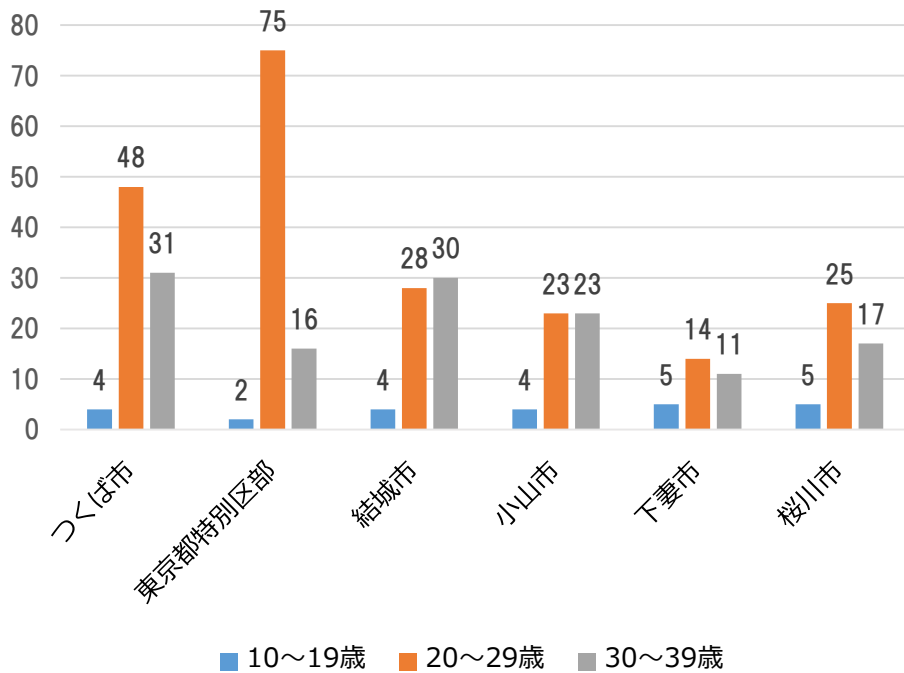
出典：総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成(REASASより引用)

年齢階級別人口移動の長期的な動向をみると、男女ともに10代後半が大幅な転出超過となっている。20代前半については、男女ともに転入超過の傾向がみられるが、男性は転入超過の度合いが縮小し、女性は転出超過に転じている。

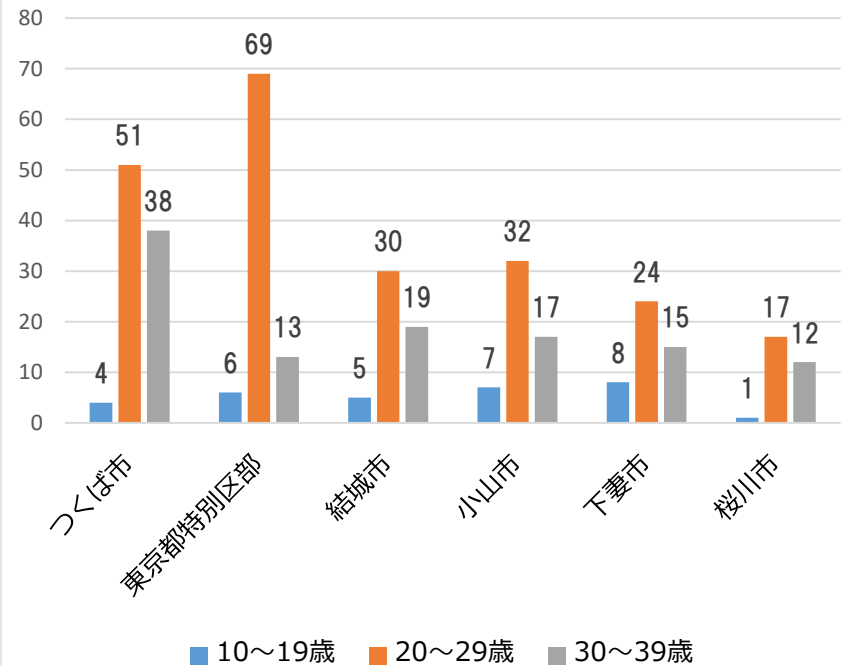
また、外国人の転入も微増傾向にある。

## 事業実施の背景③

若者（男性）の主な転出先



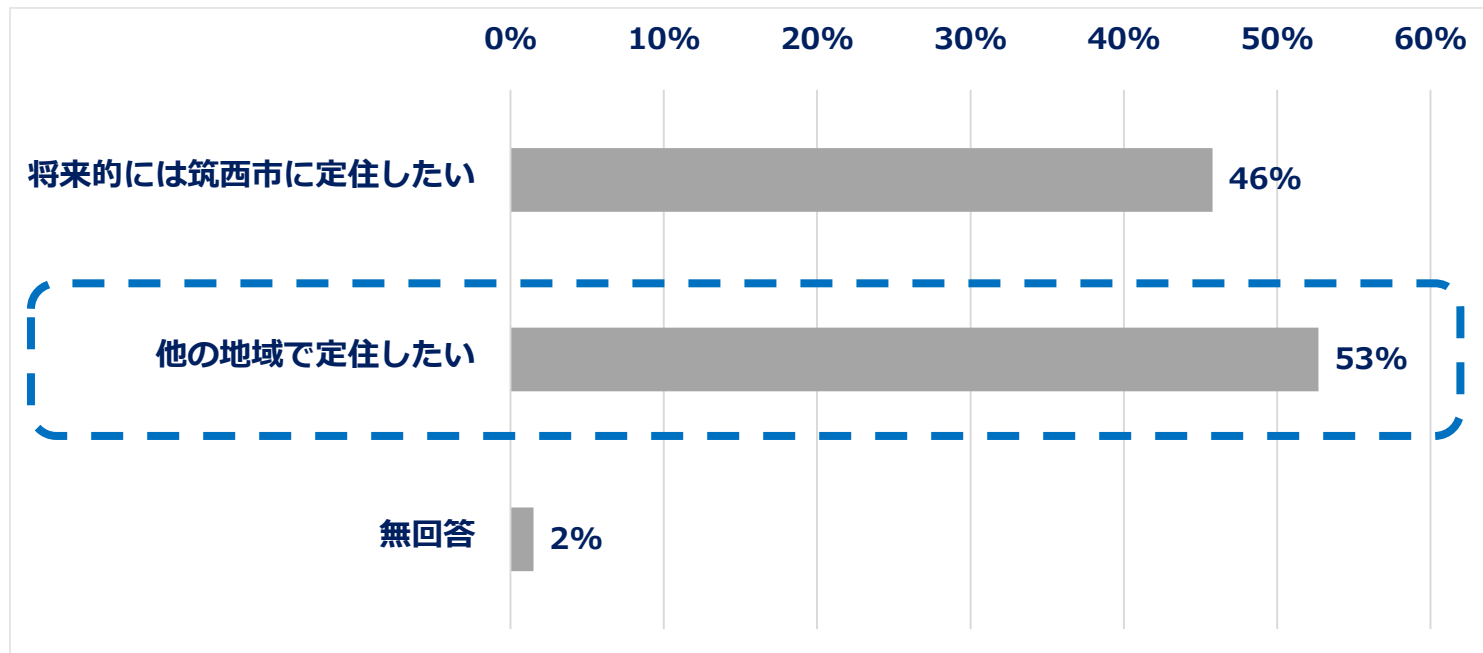
若者（女性）の主な転出先



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告(2020.1.1～2020.12.31)」

若い世代の転出先には、**進学や就職**を理由に東京都特別区部が多く、次いで近隣自治体が多くなっている。

## 事業実施の背景④



## 【他の地域で定住したい主な理由】

- ・ 買い物や遊び場に魅力がないから
- ・ 自分のやりたい仕事がないから
- ・ 筑西市に愛着がないから

出典：筑西市「第2期筑西市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定のための高校生アンケート調査」

## 要因・課題

- ・若い世代の人口減（社会減）
- ・まちの魅力・求心力の低下

## 解決策の方向性

- ・若者の遊び場や買い物の場の充実が必要
- ・若者に魅力的な職場環境、住環境が必要
- ・若者の地元への愛着、郷土愛の醸成が必要



## ちくせい若者まちづくり会議の発足

若者の意見を反映したまちづくり、郷土愛の醸成、  
関係人口の創出、UIターンの促進、地元就職の促進

事務局

# 筑西市企画部地方創生課

〒308-8616

茨城県筑西市田中町丙360番地

TEL 0296-22-0500 FAX 0296-24-7333

E-mail : [sousei@city.chikusei.lg.jp](mailto:sousei@city.chikusei.lg.jp)